

# 阿佐谷



## きずな

2025. 6. 5

### 地域福祉活動ニュース

【編集・発行】グループ ハート to Heart

【協力・お問合せ】杉並区社会福祉協議会

杉並区天沼3-19-16

ウェルファーム杉並4階

No 133

☎03-5347-1017

#### 町会長を訪ねて⑧ ～阿佐谷北二丁目町会長 佐藤 文夫さんのお話～

阿佐谷北2丁目町会長 佐藤文夫（サトウ フミオ）さんにお話を伺いました。

メーカーの営業職をしていたが、定年になって仕事が終わった時地域に全くつながりがなく、町会で活動したら繋がりができるかなと思い、北二丁目町会の役員を介して「役員会」に出席したのが始まりです。防災の副部長、副会長などを経験し、2020年に会長に就任、6年目になります。

「笑顔が輝く北二丁目町会」「町会は日ごろの顔なじみ」をモットーに活動をしています。区域には約2000世帯あり、そのうち町会員は約半分くらいです。月一回の定例会、月3回の防犯パトロール、正月の「新年会」、2月の防災施設の見学会、秋の親睦旅行、歳末防犯パトロール、北一丁目町会と協力して春・秋の交通安全週間には杉一小学校前の交差点で旗振りなどの活動をしています。

また、ケア24阿佐谷の呼びかけで阿佐谷北二丁目を中心に「あさきたシルクロードの会」を発足。地域の人と町会と一緒に久遠キリスト教会で月2回の「オレンジサロン」や「なんでも相談会」と称し、おしゃべりや体操ができるサロンや、「生前整理」「介護保険について」「介護食の試食会」などテーマごとのミニ講座と相談ができる場づくりも行っています。北二丁目はちょっと高台なので水害の心配はまずないのですが、木造密集地域に指定されていて道幅も狭く、袋小路が多いので、消防車や救急車がなかなか入れないなど、地震が起きた時が一番心配です。震災救援所になっている杉一小学校に1000人入ったら満杯になるし、備蓄食料が3000食だから1000人の人に配ったら1日でなくなってしまう。「在宅避難」するしかなくて、そのためには食料や防災用品の備蓄をするよういろいろな会合などで折に触れ話したり、

チラシを配ったりもしているのですが、防災意識の向上にはなかなか繋がっていきません。

防災に関する啓蒙がどこまでできるのか？火災の備えをどうするか？地域の協力しかないと思っていますが、大きな課題です。

毎朝5時起床、杉一小での旗振りのない日は妙正寺公園でのラジオ体操に参加。平均14000歩くらい毎日歩いていて、週に何回かの水泳・・・と

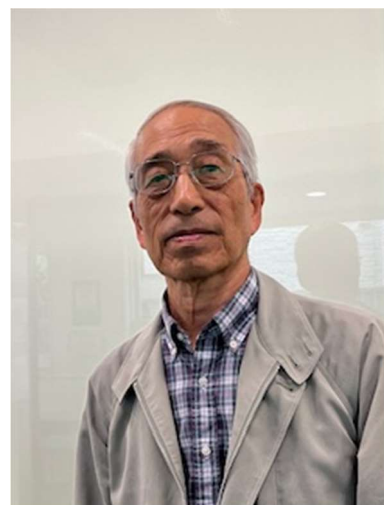


あさきたシルクロードの様子

写真提供 (福) いたるセンター

体を動かしているのが健康の秘訣です。5月で80歳、あと5年ぐらい元気に活動したいと力強く仰っていました。

取材・文 松崎 徳子



阿佐谷北二丁目町会長

佐藤 文夫さん